

2021年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
210021003	人間関係とコミュニケーション	林 加代子		共通	2	選択	2前期
科目の概要							
人間関係を構築、継続していく上で必須となるのがコミュニケーション能力です。コミュニケーションを自己と他者の間の双方向の情報や感情の分かち合い、共有だと考えると、コミュニケーションを取るときに必要なとされる能力はたくさんあります。この科目では、受容と主張、言語と非言語、対話などに注目します。授業では、理論と体験ワークを行います。家政学、栄養学を学び、実践する際に活用できることを目標とします。							
学修内容				到達目標			
① 受容（傾聴）の理論と体験ワーク ② やわらかい主張（アサーション）の理論と体験ワーク ③ 「言葉」に注目したコミュニケーションの理論と体験ワーク ④ 対話（双方向のコミュニケーション）の理論と体験ワーク				① 積極的傾聴ができる ② 自分の意見の主張の仕方がわかる ③ 「言葉」の使い方の大切さを知る ④ 対話によるアイデア発散、探求のコツをつかむ			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例					
前に踏み出す力	主体性	授業以外の時間でも、自ら考え、適切なスキルを活用できる。その後、ふりかえることができる。					
	働きかけ力	他の人に働きかけ、コミュニケーションをとることができる。					
	実行力	普段の生活の中でも、練習、実践、ふりかえりを繰り返し行うことができる。					
考え抜く力	課題発見力	自分のコミュニケーションがポイントを押さえているか、自分の課題は何かを発見し、課題があれば修正できる。					
	計画力	グループで時間内に課題を完了させることができる。					
	創造力	コミュニケーションをとるときに、固定概念にとらわれることなく、多方面から考えることができる。					
チームで働く力	発信力	相手にわかりやすい伝え方を考え、発信することができる。					
	傾聴力	他人の発言を聴き、促し、ポイントを掴むことができる。					
	柔軟性	自分と異なる意見や価値観を尊重し、柔軟に受け入れることができる。					
	状況把握力	自分のコミュニケーション・スタイルが周囲に及ぼす影響に気づき、よりよいコミュニケーションが取れるよう心がける。					
	規律性	事前に説明するルールに則った、グループワーク等ができる。					
	ストレスコントロール力	コミュニケーションで減らすことができるストレスがあることを知り、実践できる。					
テキスト及び参考文献							
テキスト：『多様な市民とつくる合意～コミュニケーションとファシリテーションのレシピ～』 参考文献：テキスト内に記載してあります。							
他科目との関連、資格との関連							
特になし。							
学修上の助言				受講生とのルール			
テキストに沿って授業を進めます。コミュニケーションのスキルは授業だけでなく、職務、日常生活でも活用できるスキルです。受講後は、日常生活の中でもできるだけ意識して活用してみてください。				ワークは積極的に取り組んでください。疑問に思うことや質問、自分の主張などは、授業中でも積極的に発言してください。毎回、提出する「ふりかえりシート」はきちんと記入してください。			

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント			
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①				
				②				
				③				
				④				
	平常評価	小テスト		0	①			
					②			
					③			
					④			
		レポート		70	①		✓	毎回の「ふりかえりシート」を記入し、提出することでレポートを提出したとします。「ふりかえりシート」に記載してある内容をすべて記入してください。 【判断するのは】 ・講義の趣旨を理解しているか ・何を学んだのかが正確に記載されているか ・ワークに取り組んだ成果にはどのようなことがあったか ・他の視点、他者とのワークの中で、どのような気づきがあったのか
					②		✓	
					③		✓	
					④		✓	
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）		20	①		✓	授業中に行う個人のワークやグループワークを対象とします。 【判断するのは】 ・ワーク中の役割を認識して行動しているか ・ワークの達成目標を理解しているか
					②		✓	
					③		✓	
					④		✓	
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	授業中にの態度、ワークへの取り組み方を対象とします。 【判断するのは】 ・ワークに積極的に取り組んでいるか（主体性。実行力） ・ワーク中、他のメンバーの話を聞くことができるか（傾聴） ・ワーク中、必ず発言しているか（発信力） ・遅刻、私語、授業中の無許可のスマートフォンの使用などは、減点とします。（規律性）			
			②	✓				
			③	✓				
			④	✓				
総合評価割合			100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
【A：優】 ・達成レベルBをクリアしている ・積極的な発言が多い（授業態度で判断します） ・「ふりかえりシート」への記載内容がじっくり考え、自分の身に引き付けて記載してある 【S：秀】 ・「ふりかえりシート」の記載内容が理解したこと、気づき、感想などの省察が深いこと、自分に引き付けての考察が深いこと	・講義、ワークともに真面目に取り組んでいる ・ワーク中に、ワークの趣旨を理解した発言をしている（関係のない私語は減点） ・ワーク中は、自分の役割を実行している ・ふりかえりシートの各項目の記入量が枠内の半分以上あること

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	オリエンテーション アイスブレイクの理論 と活用を学ぶ	講義 ワーク ふりかえりシートの記 入	アイスブレイクの理論 を学び、活用の場 面を 考えることができる	(予習) P6～25を 読み、要点をまと めておくこと (復習) 機会があ れば、実践し、メ モしておくこと	90	主体性 働きかけ力 実行力 発信力 傾聴力 ストレスコントロール力
2	受容と主張1 (傾聴1) 積極的傾聴のうち「聴 く」の理論、活用を学 ぶ	講義 ミニワーク(個人、グ ループ) ふりかえりシートの記 入	積極的傾聴の理論を学 び、日常的にできるよ うになる	(予習) P31～40を 読み、要点をまと めておくこと (復習) 機会があ れば、実践し、メ モしておくこと	90	主体性 課題発見力 傾聴力 状況把握力
3	受容と主張2 (傾聴2) 積極的傾聴のうち「訊 く」の理論、活用を学 ぶ	講義 ミニワーク(グルー プ) ふりかえりシートの記 入	質問するスキルをグ ループワークで体験 し、日常生活での活用 の場面を言える	(予習) p31～40を 読み、要点をまと めておくこと (復習) 機会があ れば、実践し、メ モしておくこと	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力
4	受容と主張3 (やわらかい主張) 相手の心を傷つけず に、自己主張をする方 法を学ぶ	講義 ワーク(ペアワーク) ふりかえりシートの記 入	自分の考えや気持ちを 主張する「アサーショ ン」の理論を学び、グ ループワークを通して 理解する	(予習) P50～59を 読み、要点をまと めておくこと (復習) 機会があ れば、実践し、メ モしておくこと	90	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 状況把握力 ストレスコントロール力
5	受容と主張4 (会話を記録する1) ファシリテーション・ グラフィックの基礎を 学ぶ	講義 グループワーク ふりかえりシートの記 入	「ファシリテーショ ン・グラフィック」の 基礎を学び、グルー プワークを通して理解 する サークルの会議など で活用できるように する	(予習) P61～66を 読み、要点をまと めておくこと (復習) 機会があ れば、実践し、メ モしておくこと	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力
6	受容と主張5 (会話を記録する2) ファシリテーション・ グラフィックの発展形 である「フレームワー ク」の基礎を学ぶ	講義 ワーク(個人、グルー プ) ふりかえりシートの記 入	理論的な結論を導くた めのフレームワークの 理論を学び、グルー プワークを通して理解 する プレゼンテーションの 機会等で活用できる	(予習) P67～77を 読み、要点をまと めておくこと (復習) 機会があ れば、実践し、メ モしておくこと	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 状況把握力
7	言語と非言語1 (言語1) 言葉を言い換えること で、気持ちが替わった り、傷つけなかったり する「リフレーミン グ」について学ぶ	講義 ワーク(個人、グルー プ) ふりかえりシートの記 入	リフレーミングの理論 を学び、個人ワーク、 グループワークを通 して、リフレーミング を理解し、日常的に 活用できる場面 を考える	(予習) P86～94を 読み、要点をまと めておくこと (復習) 機会があ れば、実践し、メ モしておくこと	90	主体性 働きかけ力 課題発見力 創造力 発信力 柔軟性
8	言語と非言語2 (ブラインドワーク 1) 言葉が大切な伝達手 段となるブラインド の状態、言語だけで なく非言語の重要性 を学ぶ	講義 ワーク(個人、グルー プ) ふりかえりシートの記 入	ブラインドワークを体 験することで言語メ ッセージに含まれる 非言語を体験し、 言語の大切さを理 解する	(予習) P105～110 を読み、要点をまと めておくこと (復習) 機会があ れば、実践し、メ モしておくこと	90	主体性 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	言語と非言語3 (ブラインドワーク2) 的確な言葉の使い方、コミュニケーションの取り方を学ぶ	ワーク (ペア、グループ) ふりかえりシートの記入	広い場所でのブライントワークを通して、言葉で的確に伝える方法を理解する	(予習) P111~117を読み、要点をまとめておくこと (復習) 機会があれば、実践し、メモしておくこと	90	主体性 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性
10	言語と非言語4 (インプロ) インプロ(即興劇)の手法を活用して、言語以外でのコミュニケーションを学ぶ	講義 ワーク (ペア、グループ) ふりかえりシートの記入	非言語のプログラムとして、インプロの基礎理論とワークでの体験を通して、非言語の意義を理解する	(予習) P95~102を読み、要点をまとめておくこと (復習) 機会があれば、実践し、メモしておくこと	90	主体性 課題発見力 創造力 状況把握力 ストレスコントロール力
11	言語と非言語5 (伝える、伝わる1) 「伝える」「伝わる」の違いと、伝わるためのコミュニケーション方法を学ぶ	講義 ワーク ふりかえりシートの記入	伝えると伝わるの違いに注目して「伝わる」ための理論を学び、グループワークを通して、コミュニケーションスタイルのブラッシュアップにつなげる	(予習) P118~122を読み、要点をまとめておくこと (復習) 機会があれば、実践し、メモしておくこと	90	主体性 働きかけ力 実行力 発信力 傾聴力 柔軟性
12	言語と非言語6 (伝える、伝わる2) 「伝わる」ためのプレゼンを学ぶ	講義 ワーク ふりかえりシートの記入	「伝わる」ために、プレゼン前のシートを記入し、実際にプレゼンする。その後、グループ内でのふりかえりを通して、伝わる伝え方を学ぶ	(予習) P123~131を読み、要点をまとめておくこと (復習) 機会があれば、実践し、メモしておくこと	90	主体性 働きかけ力 実行力 発信力 傾聴力
13	対話1 (自分との対話) 自分と向き合い、対話する方法を学ぶ	講義 ワーク (個人、グループ) ふりかえりシートの記入	自分と対話するツールとして、SWOT分析、ジョハリの窓を行う。自分チャシを作成する	自分と対話するツールとして、SWOT分析、ジョハリの窓を行う。自分チャシを作成する	90	主体性 課題発見力 ストレスコントロール力
14	対話2 (自分との対話2) 自分チャシの作成とプレゼンを行い、自分との対話の成果を発表する	ワーク (個人、グループ) ふりかえりシートの記入	自分チャシで、自分プレゼンを行う。	(予習) P138~149を読み、要点をまとめておくこと (復習) 機会があれば、実践し、メモしておくこと	90	主体性 働きかけ力 発信力 傾聴力 規律性
15	対話3 (多人数での対話) 多人数での対話の方法を学し、本授業のふりかえりを行う	講義 ワーク ふりかえりシートの記入	ワールドカフェ方式での対話を行う	(予習) P148~161を読み、要点をまとめておくこと (復習) 機会があれば、実践し、メモしておくこと	90	主体性 働きかけ力 課題発見力 計画力 創造力 柔軟性 ストレスコントロール力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力